

## 一般国道 340 号押角峠工区の整備見通しについて

一般国道 340 号の押角峠工区については、現道の幅員が狭く、急カーブが連続するいわゆる隘路<sup>あいろ</sup>区間となっていることから、県では、**復興支援道路として昨年度から整備事業に着手し調査**等を進めてきました。

今般、これから工事発注を予定する（仮称）押角トンネル等の調査・設計を進める中で、早期完成に向けて事業工程を検討した結果、**平成 34 年度に予定していた供用開始を平成 32 年度に前倒し**できる見通しとなりました。

### 1 供用開始時期の見通しについて

押角峠工区の供用開始については、平成 34 年度中を予定していたが、下記の対応及び検討を踏まえた結果、平成 32 年度内に供用できる見通しとなったもの。

### 2 事業工程前倒しの要因について

#### ① 測量・調査・設計に要する期間の短縮

測量・調査・設計業務を一括発注し、それぞれの業務を並行して進めた結果、平成 28 年度に予定していた（仮称）押角トンネルの工事発注を平成 27 年度に前倒しできる見通しとなったもの。

#### ② トンネル本体工事の期間の短縮

詳細設計を進める中で、トンネル両側の坑口から同時に掘削する施工計画とし、工程を検討した結果、トンネル本体工事の工期短縮が図られる見込みとなったもの。

### 【全体計画概要】

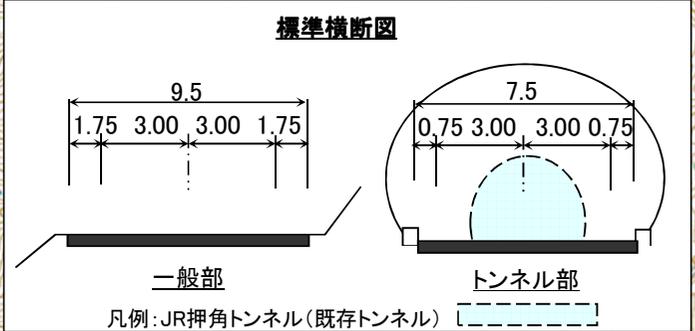
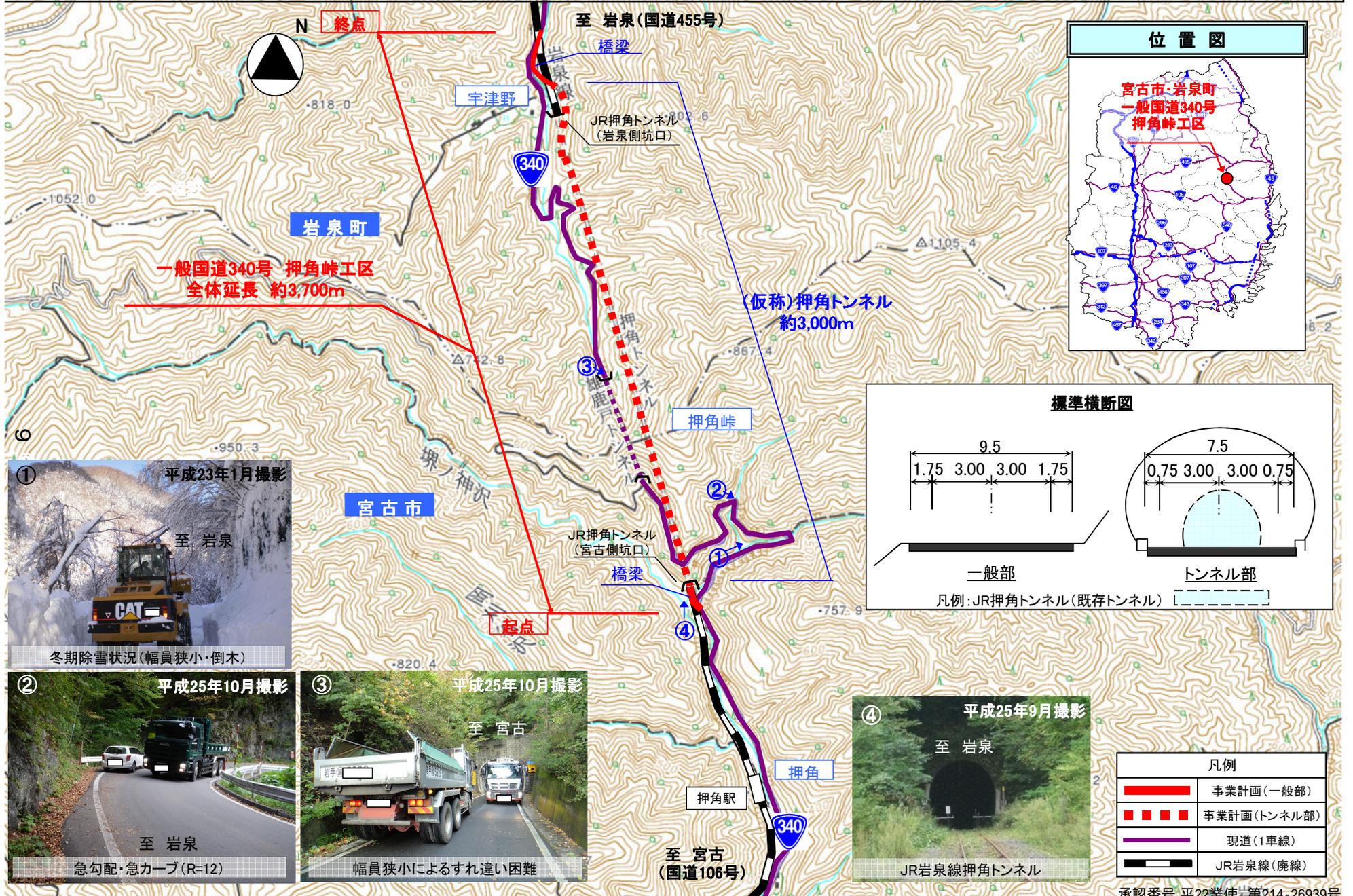
一般国道 340 号 押角峠工区（宮古市・岩泉町）

- ・全体事業費：約 65 億円
- ・全体延長：約 3,700m（うちトンネル約 3,000m、橋梁 2 橋）
- ・計画幅員：道路部・橋梁部 6.0(9.5)m、トンネル部 6.0(7.5)m
- ・事業期間：平成 26 年度～平成 32 年度（2 年間短縮）

### 3 その他

- 今後、トンネル本体工事終了後に実施するトンネル舗装工事やトンネル設備工事（防災設備工事、照明工事）などについても、工事期間の短縮等を検討していきます。
- （仮称）押角トンネルの設計にあたって地質調査を実施したところ、採取した試料（岩石）から自然由来の砒素の含有を確認したことから、専門家（国立研究開発法人 土木研究所）の指導をいただきながら適切に対応していきます。

# 地域連携道路整備事業 一般国道340号 押角峠工区 計画概要図



凡例	
<span style="color: red;">——</span>	事業計画(一般部)
<span style="color: red;">■■■■</span>	事業計画(トンネル部)
<span style="color: purple;">——</span>	現道(1車線)
<span style="color: black;">——</span>	JR岩泉線(廃線)